

七つの星・広の編

同じものを持っている。

増やさなくていい。

あなたの軸が未来の可能性を広げていく。

FOCUS





情報でつながっても心は分断されている。

私たちはどこにいても繋がれる時代を生きています。

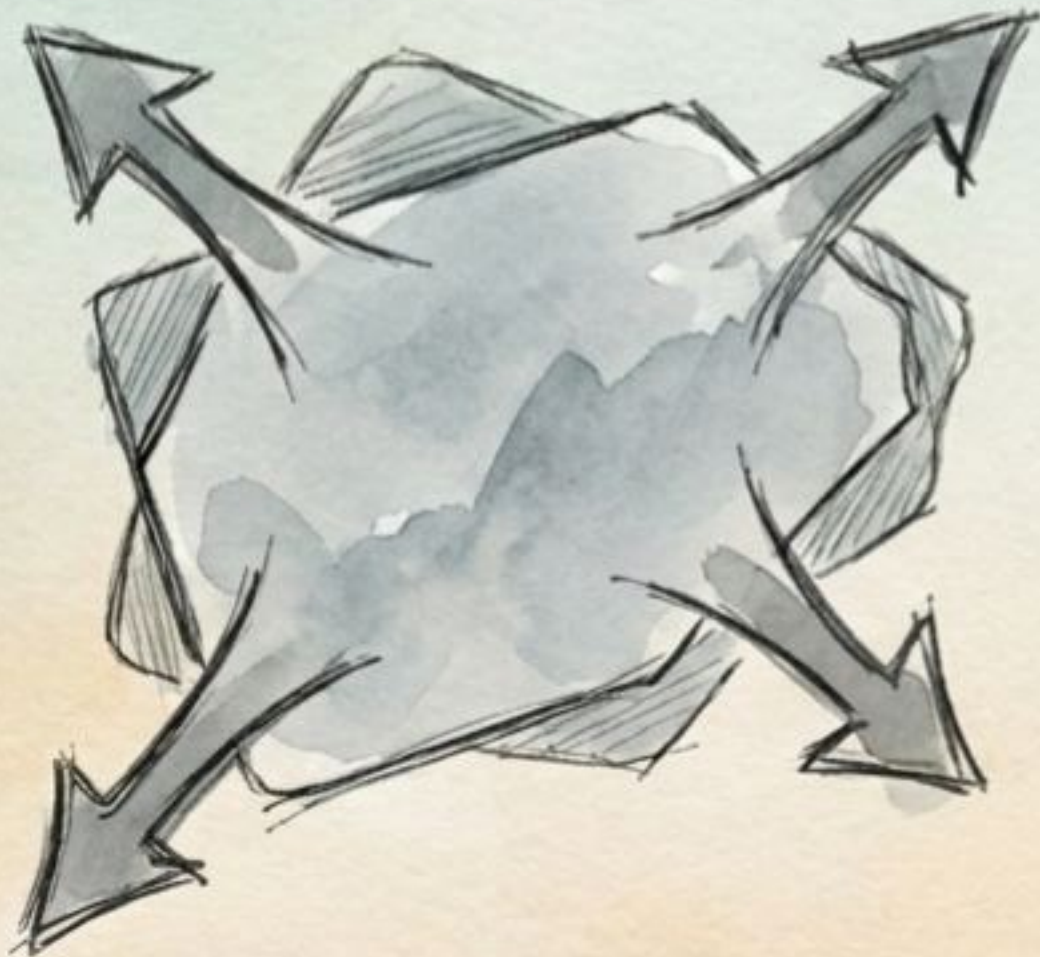
しかし技術が共通言語を作っても普遍的な体感やつながりへの渴望は消えません。



広げるとは規模を大きくすることではない。

日本古来の文化は無理な拡大をしません。

違いを排除せずに自然と溶けわせる**中間の場**を作るのです。



音が変わっても呼吸は変わらない。

相手のリズムを奪うのではなくそっと支えること。
無理に合わせるのではなく
身体そのもので共にいることが
真のつながりを生みます。



なぜ私たちは見知らぬものと共鳴できるのか。

言語が違っていても私たちはみな重力の中に立ち呼吸をしています。
共通する身体の根底に触れるとき自然と共鳴が起こります。



本当に広がるのは未来の可能性。

新しい場が生まれ新しい関係が結ばれる。

これまでの延長線上にはなかつた次の展開が
そこから静かに立ち上がります。

違いを消すのではなく 共通の根幹を思い出す。

情報が均質化しても人が持つ違いは消えません。

だからこそ人類共通の財産である**生命のリズム**を大切にすることです。



まずは静かな呼吸に帰る。

すでに私たちは一つであることを思い出すだけです。
自分の文化を守りながら人類の根幹を育てる小さな一歩はここから始まります。

